

第 1 章

母子保健統計

本書で用いる用語の説明

- 1 出生率 = $\frac{1 \text{ 年間の出生数}}{\text{人 口}} \times 1,000$
- 2 合計特殊出生率 = $\left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計
- 3 妊産婦死亡率 = $\frac{\text{妊産婦死亡数}}{\text{出産 (出生数+死産数) 数}} \times 100,000$
死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。
- 4 乳児死亡率 = $\frac{1 \text{ 歳未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$
- 5 新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 4 週 (28日) 未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 6 早期新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 1 週未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 7 周産期死亡率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出産 (出生数+妊娠22週以後の死産数) 数}} \times 1,000$
- 8 死産率 (自然死産率・人工死産率) = $\frac{\text{死産 (自然・人工) 数}}{\text{出産 (出生+死産) 数}} \times 1,000$
死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。人工死産は人工妊娠中絶のうち、妊娠満12週(第4月)から妊娠22週(第6月)未満のものをいう。
- 9 妊娠満22週以後の死産率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数}}{\text{出産 (出生数+妊娠22週以後の死産数) 数}} \times 1,000$
- 10 人工妊娠中絶実施率 = $\frac{\text{人工妊娠中絶総件数}}{15 \text{ 歳以上} 50 \text{ 歳未満女子総人口}} \times 1,000$
- 11 20歳未満人工妊娠中絶実施率 = $\frac{20 \text{ 歳未満の人工妊娠中絶件数}}{15 \text{ 歳以上} 20 \text{ 歳未満女子総人口}} \times 1,000$

I 母子保健に関する統計

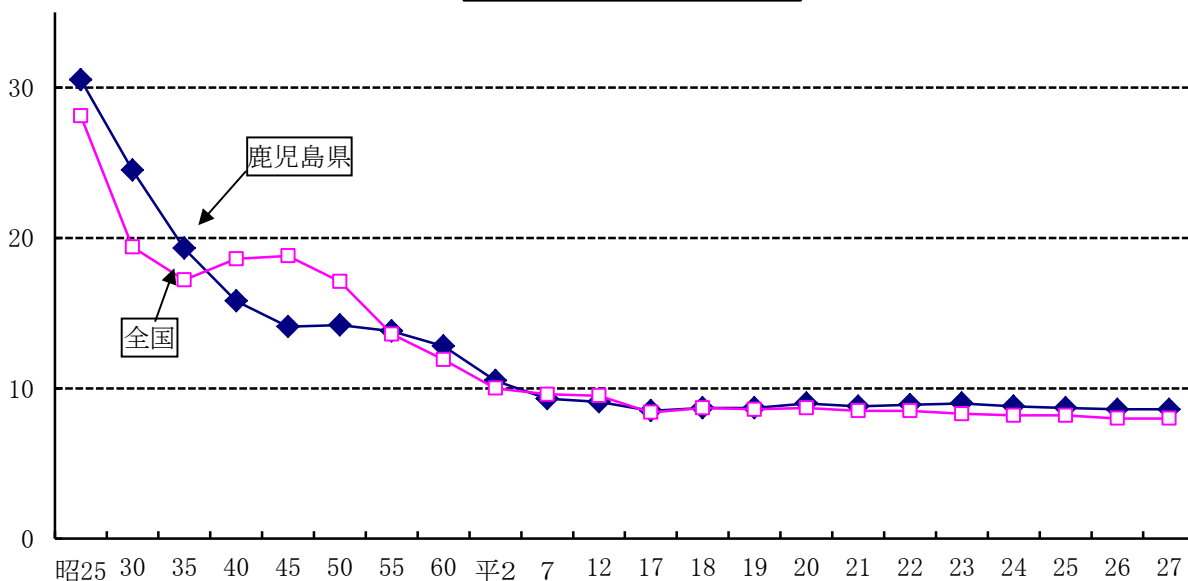
1 出生

(1) 出生数・率

本県の平成27年の出生数は14,125人で、平成26年の14,236人より111人減少し、出生率は8.6であった。
 また、1人の女性が一生に生む子どもの数を表すといわれる合計特殊出生率は、平成27年は1.7となり、平成26年から0.1ポイント増加している。

人口千対

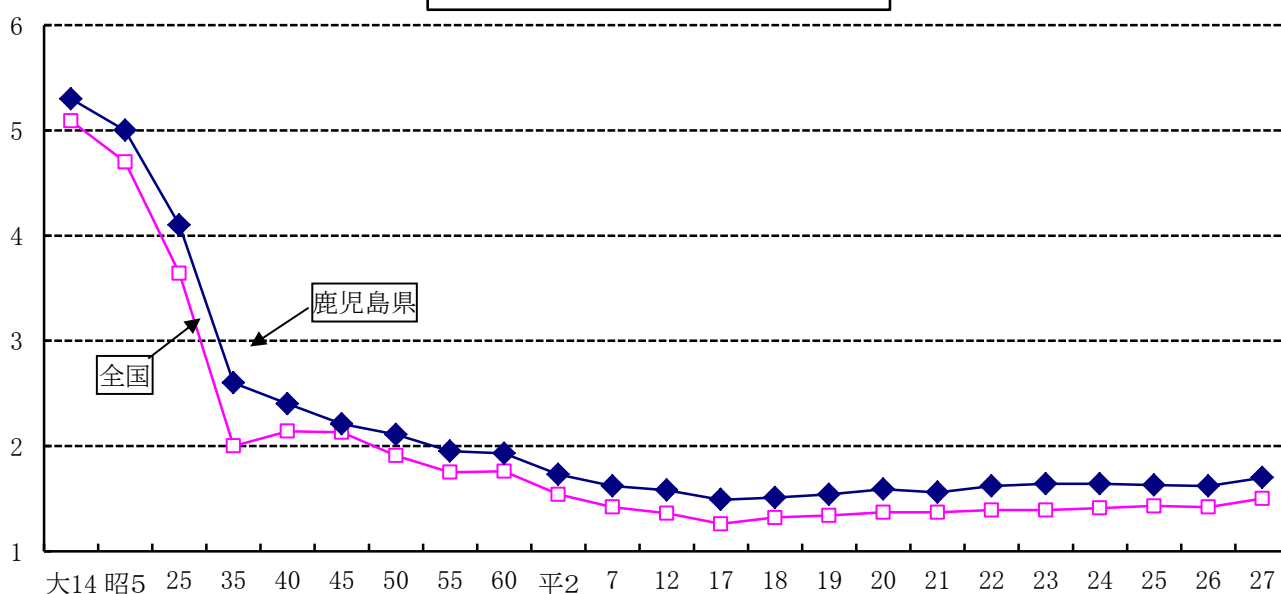
図1 出生率の年次推移



年次	昭25	30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
鹿児島県	30.5	24.5	19.3	15.8	14.1	14.2	13.8	12.8	10.5	9.3	9.1	8.5	8.7	8.7	9.0	8.8	8.9	9.0	8.8	8.7	8.6	8.6
全国	28.1	19.4	17.2	18.6	18.8	17.1	13.6	11.9	10.0	9.6	9.5	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0

資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図2 合計特殊出生率の年次推移



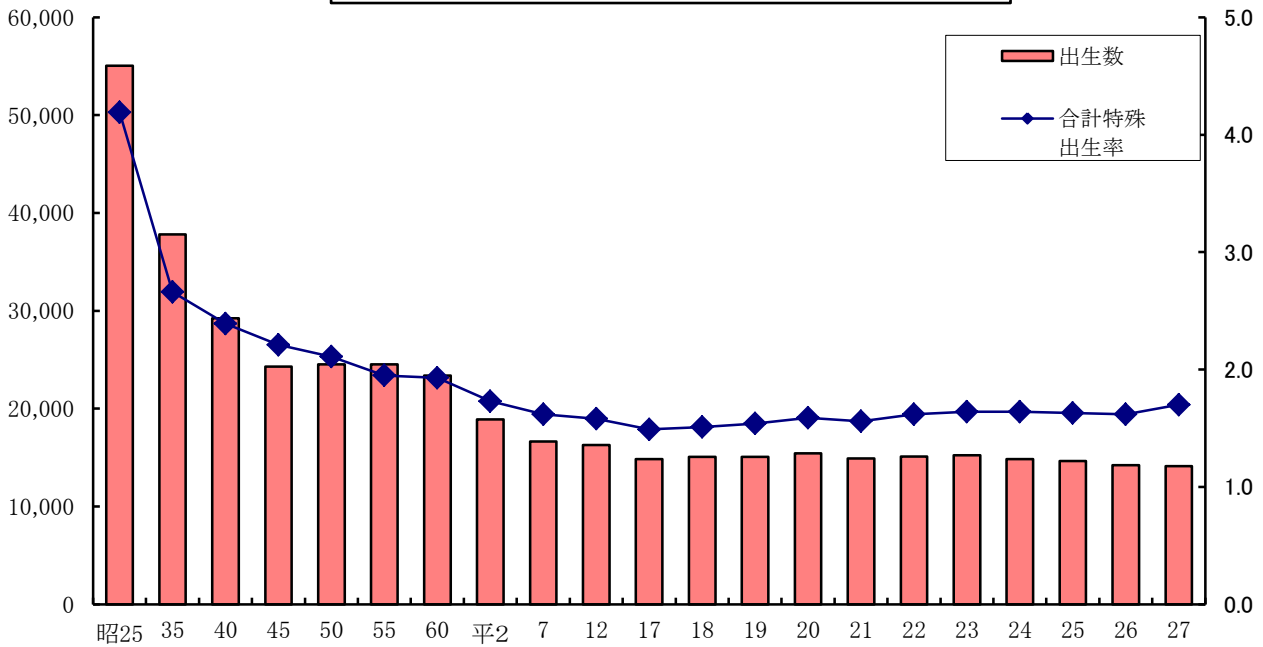
年次	大14	昭5	25	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
鹿児島県	5.3	5.0	4.1	2.6	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7
全国	5.1	4.7	3.6	2.0	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5

資料: 本県「衛生統計年報」、厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2009」(大14～昭25)

(出生数:人)

図3 出生数と合計特殊出生率の年次推移(本県)

(合計特殊出生率)

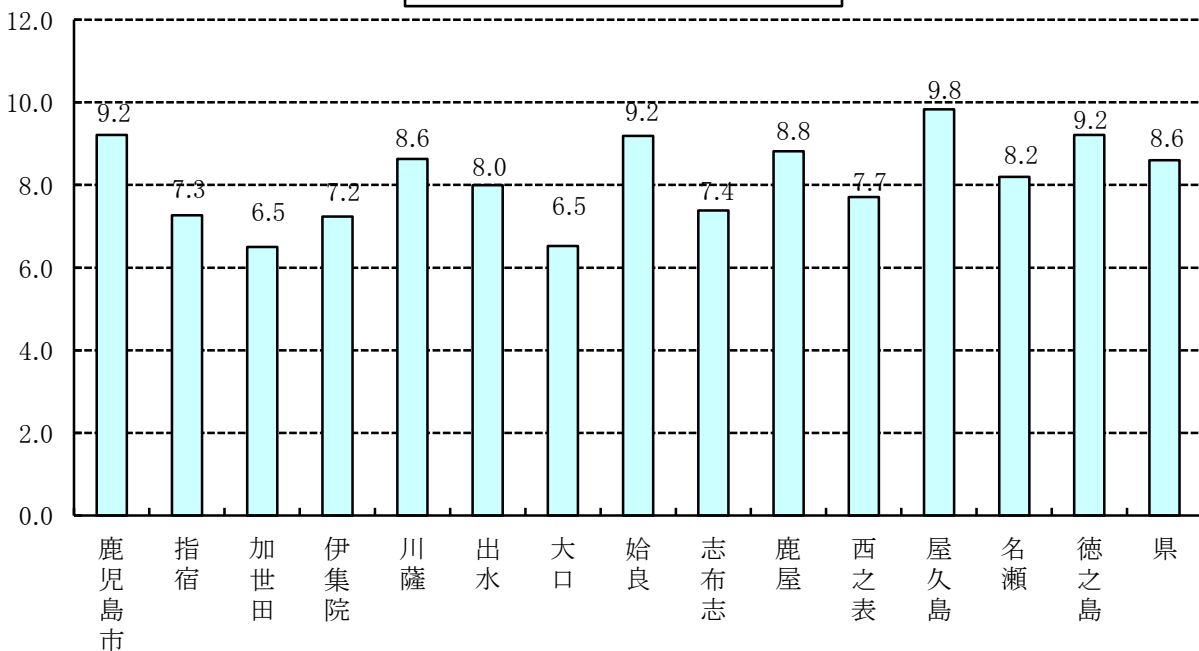


年次	昭25	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
出生数	55,038	37,821	29,243	24,311	24,521	24,540	23,375	18,892	16,649	16,272	14,834	15,080	15,090	15,445	14,920	15,124	15,244	14,841	14,637	14,236	14,125	
合計特殊出生率	4.2	2.7	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

人口千対

図4 平成27年保健所別出生率



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
出生数	5,526	304	610	577	1,023	683	175	1,942	600	1,383	230	127	561	384	14,125
出生率	9.2	7.3	6.5	7.2	8.6	8.0	6.5	9.2	7.4	8.8	7.7	9.8	8.2	9.2	8.6

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生順位別出生割合

生まれた子とその母親の何番目の子にあたるかについて見てみると、本県では昭和30年には第3子以上が全出生数の55.0%を占めていたが、その後減少傾向となり、平成17年が18.7%と最も低かった。その後、微増し平成27年には23.7%となった。

図5 昭和30年出生順位出生割合

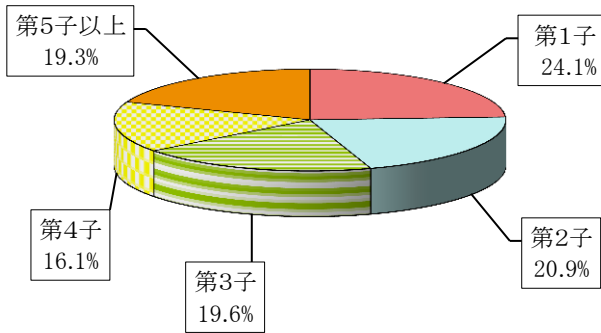
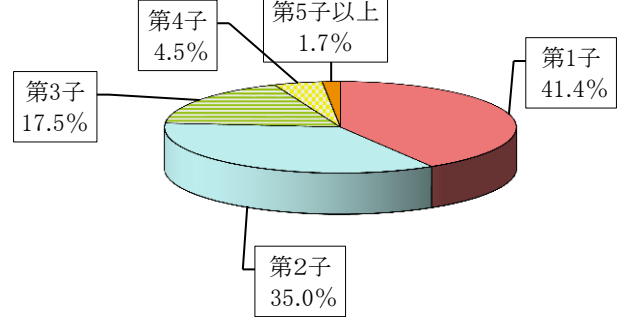


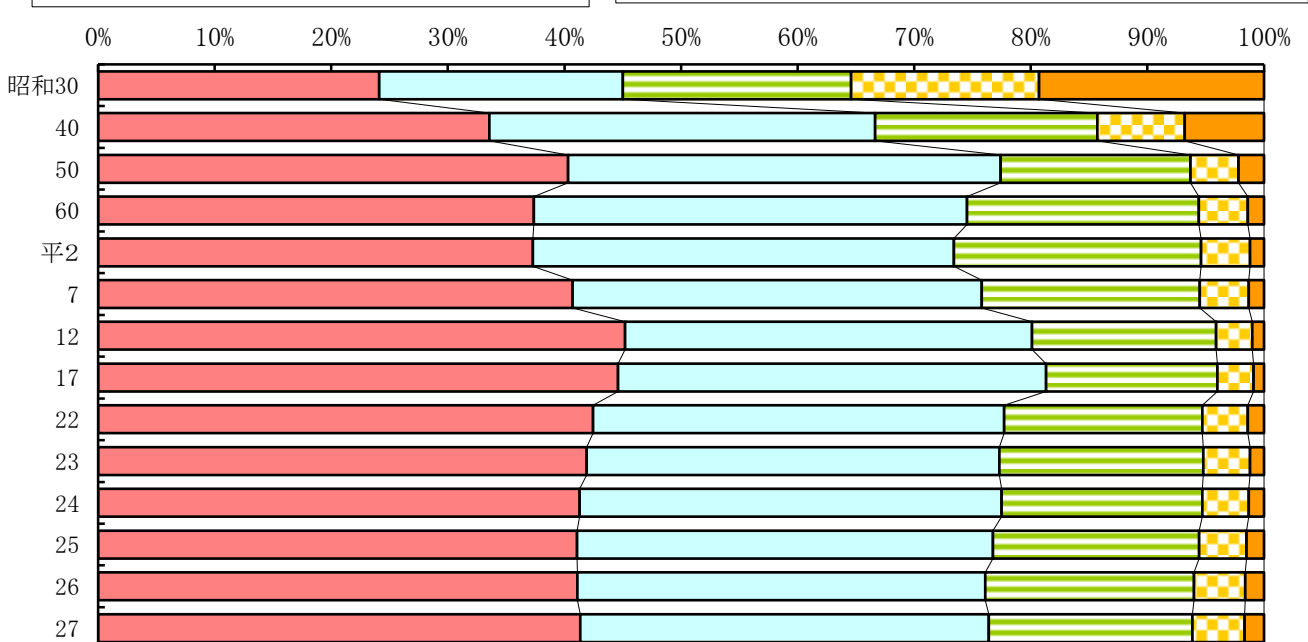
図6 平成27年出生順位出生割合



年次	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和30	12,059	24.1	10,425	20.9	9,773	19.6	8,069	16.1	9,653	19.3
40	9,814	33.6	9,687	33.1	5,575	19.1	2,183	7.5	1,984	6.8
50	9,883	40.3	9,098	37.1	4,003	16.3	1,011	4.1	526	2.2
60	8,731	37.4	8,697	37.2	4,639	19.9	975	4.2	333	1.4
平2	7,053	37.3	6,815	36.1	4,012	21.2	789	4.2	223	1.2
7	6,765	40.7	5,843	35.1	3,109	18.7	710	4.2	222	1.3
12	7,357	45.2	5,681	34.9	2,560	15.8	506	3.1	168	1.0
17	6,615	44.6	5,444	36.7	2,175	14.7	456	3.1	144	0.9
22	6,428	42.5	5,334	35.3	2,570	17.0	586	3.9	206	1.4
23	6,394	41.9	5,392	35.4	2,664	17.5	607	4.0	187	1.2
24	6,129	41.3	5,371	36.2	2,547	17.2	598	4.0	196	1.3
25	6,012	41.1	5,223	35.7	2,588	17.7	593	4.1	221	1.5
26	5,848	41.1	4,989	35.0	2,545	17.9	626	4.4	228	1.6
27	5,842	41.4	4,947	35.0	2,470	17.5	631	4.5	235	1.7

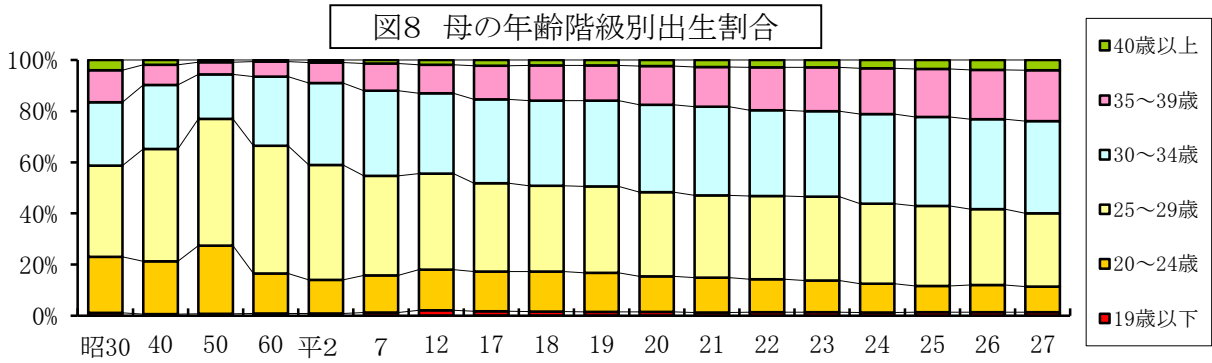
資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図7 出生順位別出生割合の年次推移



(3) 母の年齢階級別出生割合

平成27年の母の年齢階級別出生割合は、本県では23.9%が35歳以上であり、国の28.0%に比べると低いが、増加傾向にある。



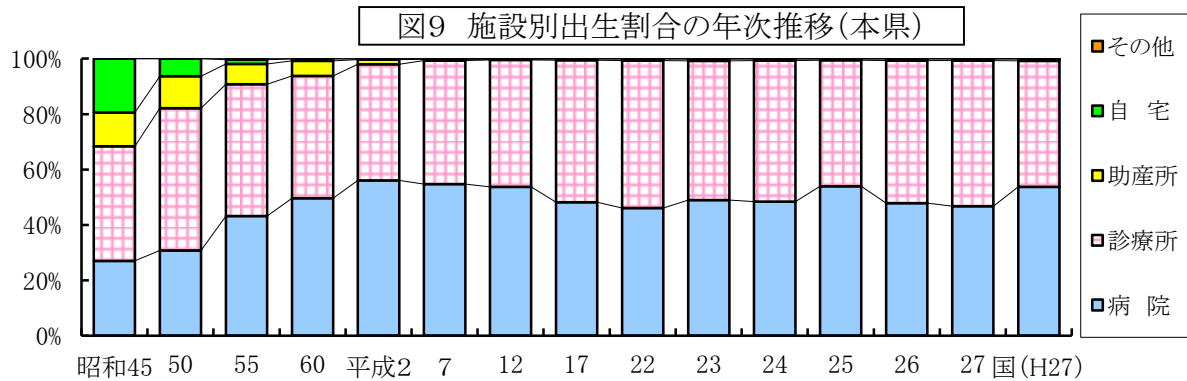
(単位 %)

	昭30	40	50	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	国(H27)
40歳以上	4.0	1.9	0.9	0.6	1.0	1.4	1.9	2.3	2.1	2.2	2.4	2.8	2.9	2.9	3.3	3.6	3.9	4.0	5.3
35～39歳	12.5	7.9	4.8	5.9	8.0	10.6	11.2	13.1	13.8	13.7	15.2	15.5	16.8	17.2	17.9	18.7	19.3	19.9	22.7
30～34歳	24.8	25.2	17.3	27.0	32.0	33.3	31.3	32.8	33.3	33.6	34.1	34.6	33.4	33.4	35.0	34.8	35.1	36.1	36.3
25～29歳	35.6	44.0	49.5	50.0	45.0	39.0	37.5	34.5	33.5	33.7	32.9	32.2	32.5	32.7	31.2	31.2	29.7	28.7	26.1
20～24歳	21.9	20.7	26.6	15.6	13.1	14.5	16.0	15.5	15.7	15.3	13.9	13.6	12.9	12.4	11.3	10.3	10.6	10.0	8.4
19歳以下	1.1	0.7	0.8	0.9	0.9	1.3	2.1	1.8	1.6	1.5	1.5	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.2

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(4) 施設別出生割合

本県でも全国と同様に病院・診療所における出生が99.2%と大部分を占めている。また、昭和50年と比較すると、助産所・自宅での出生が大幅に少なくなっている。



年次	出生数	病院		診療所		助産所		自宅		その他	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和45	24,311	6,552	27.0	10,085	41.4	2,960	12.2	4,714	19.4	-	-
50	24,521	7,516	30.7	12,622	51.4	2,846	11.6	1,537	6.3	-	-
55	24,540	10,615	43.2	11,670	47.6	1,803	7.3	356	1.5	96	0.4
60	23,375	11,825	50.6	10,526	45.0	853	5.6	130	0.6	41	0.2
平成2	18,892	10,588	56.0	7,929	42.0	290	1.6	51	0.3	18	0.1
7	16,649	9,099	54.7	7,430	44.6	76	0.5	36	0.2	8	0.0
12	16,272	8,746	53.8	7,445	45.8	47	0.3	24	0.1	10	0.1
17	14,834	7,140	48.1	7,604	51.3	72	0.5	15	0.1	3	0.0
22	15,124	6,956	46.0	8,057	53.3	94	0.6	15	0.1	2	0.0
23	15,244	7,454	48.9	7,668	50.3	100	0.7	17	0.1	5	0.0
24	14,841	7,172	48.3	7,566	51.0	83	0.6	16	0.1	4	0.0
25	14,637	7,885	53.9	6,662	45.5	74	0.5	14	0.1	2	0.0
26	14,236	6,813	47.9	7,324	51.4	72	0.5	22	0.2	5	0.0
27	14,125	6,595	46.7	7,426	52.6	89	0.6	12	0.1	3	0.0
国(H27)	1,005,677	539,939	53.7	457,427	45.5	6,885	0.7	1,135	0.1	291	0.0

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

注)昭和45年、50年の「自宅」の数は、「自宅及びその他」の合計数である。

2 妊産婦死亡

全国的にみると、若干の変動はあるものの漸次減少傾向を示している。
 本県においては、平成2年以降、妊産婦死亡数は0～2人で推移している。

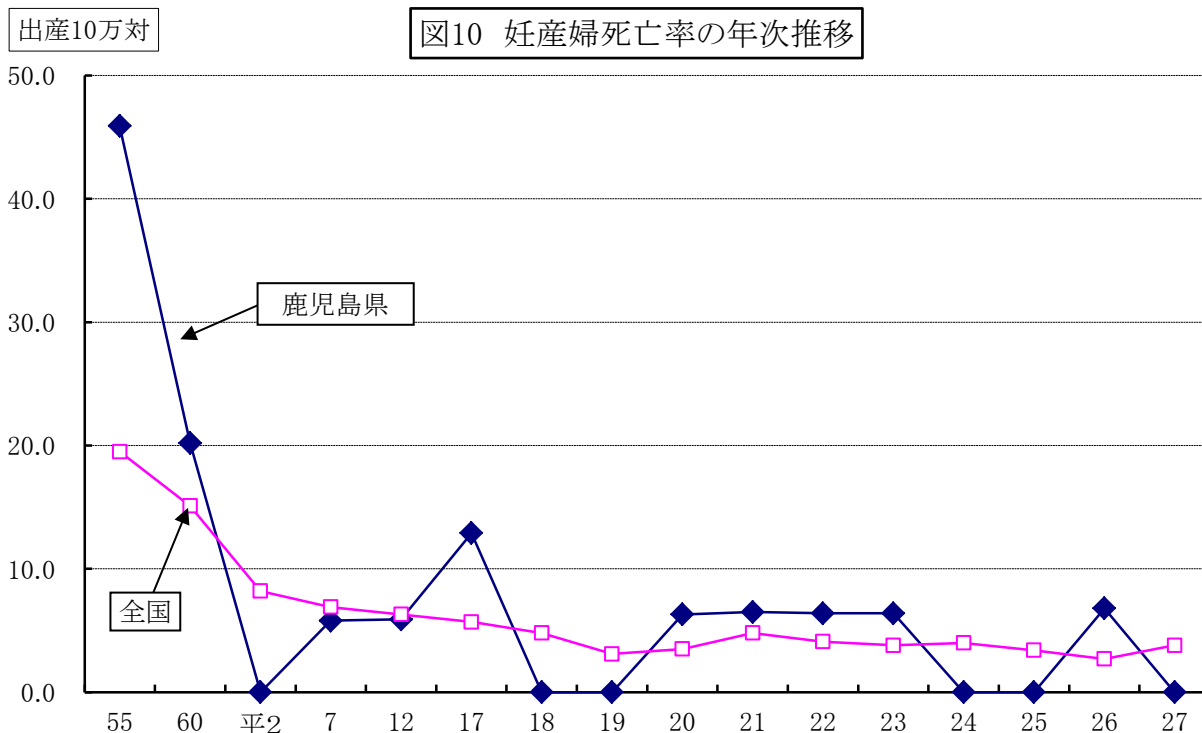


表1 妊産婦死亡数及び率の年次推移 (出産10万対)

年次	鹿 児 島 県		全 国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	96人	17.4	4,117人	17.6
30	84	16.8	3,095	17.9
35	64	16.9	2,097	13.1
40	39	13.3	1,597	8.8
45	30	12.4	1,008	5.2
50	8	3.3	546	2.9
55	12	45.9	323	19.5
60	5	20.2	226	15.1
平2	0	0.0	105	8.2
7	1	5.8	85	6.9
12	1	5.9	78	6.3
17	2	12.9	62	5.7
18	0	0.0	54	4.8
19	0	0.0	35	3.1
20	1	6.3	39	3.5
21	1	6.5	53	4.8
22	1	6.4	45	4.1
23	1	6.4	41	3.8
24	0	0.0	42	4.0
25	0	0.0	36	3.4
26	1	6.8	28	2.7
27	0	0.0	39	3.8

* 妊産婦死亡率は、昭和53年までは出生万対である。

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

3 乳児死亡・新生児死亡

(1) 乳児死亡・新生児死亡数

本県の乳児死亡数・率は、昭和30年には1,693人(出生千対33.9)であったが、その後、多少の変動をしながら減少しており、平成27年は37人(出生千対2.6)であった。

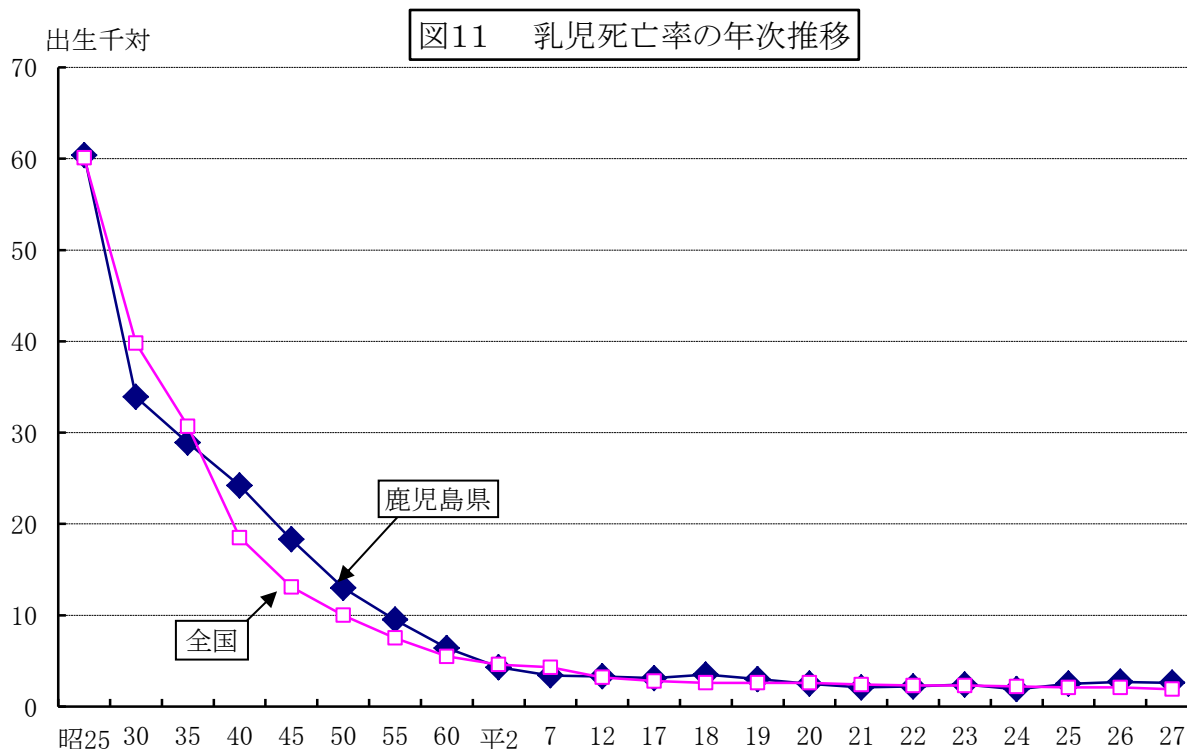
また、新生児死亡数・率については、昭和30年には824人(出生千対16.5)であったが、平成27年は15人(出生千対1.1)となった。

平成27年は、乳児死亡率、新生児死亡率共に全国より高い水準となっている。

表2 乳児・新生児死亡数及び率(出生千対)の年次推移

年次	鹿 児 島 県				全 国			
	乳 児		新 生 児		乳 児		新 生 児	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	3,325	60.4	—	—	140,525	60.1	64,142	27.4
30	1,693	33.9	824	16.5	68,801	39.8	38,646	22.3
35	1,094	28.9	525	13.6	49,293	30.7	27,362	17.0
40	709	24.2	442	15.1	33,742	18.5	21,260	11.7
45	446	18.3	267	11.0	25,412	13.1	16,742	8.7
50	319	13.0	201	8.2	19,103	10.0	12,918	6.8
55	233	9.5	144	5.9	11,841	7.5	7,795	4.9
60	150	6.4	90	3.9	7,899	5.5	4,910	3.4
平2	81	4.3	45	2.4	5,616	4.6	3,177	2.6
7	56	3.4	24	1.4	5,054	4.3	2,615	2.2
12	53	3.3	18	1.1	3,830	3.2	2,106	1.8
17	46	3.1	17	1.1	2,958	2.8	1,510	1.4
18	53	3.5	17	1.1	2,864	2.6	1,444	1.3
19	46	3.0	23	1.5	2,828	2.6	1,434	1.3
20	38	2.5	13	0.8	2,798	2.6	1,331	1.2
21	31	2.1	14	0.9	2,556	2.4	1,254	1.2
22	34	2.2	15	1.0	2,450	2.3	1,167	1.1
23	36	2.4	15	1.0	2,463	2.3	1,147	1.1
24	28	1.9	13	0.9	2,299	2.2	1,065	1.0
25	37	2.5	14	1.0	2,185	2.1	1,026	1.0
26	38	2.7	17	1.2	2,080	2.1	952	0.9
27	37	2.6	15	1.1	1,916	1.9	902	0.9

資料:厚生労働省「人口動態統計」



出生千対

図12 新生児死亡率の年次推移

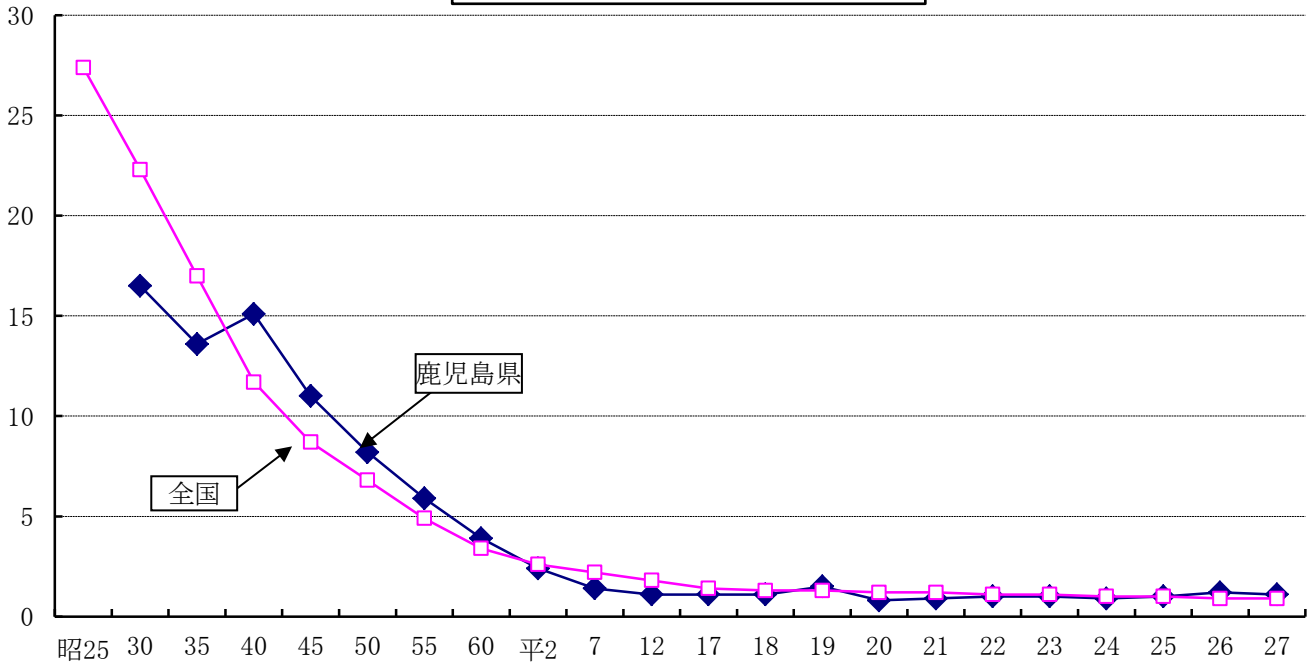
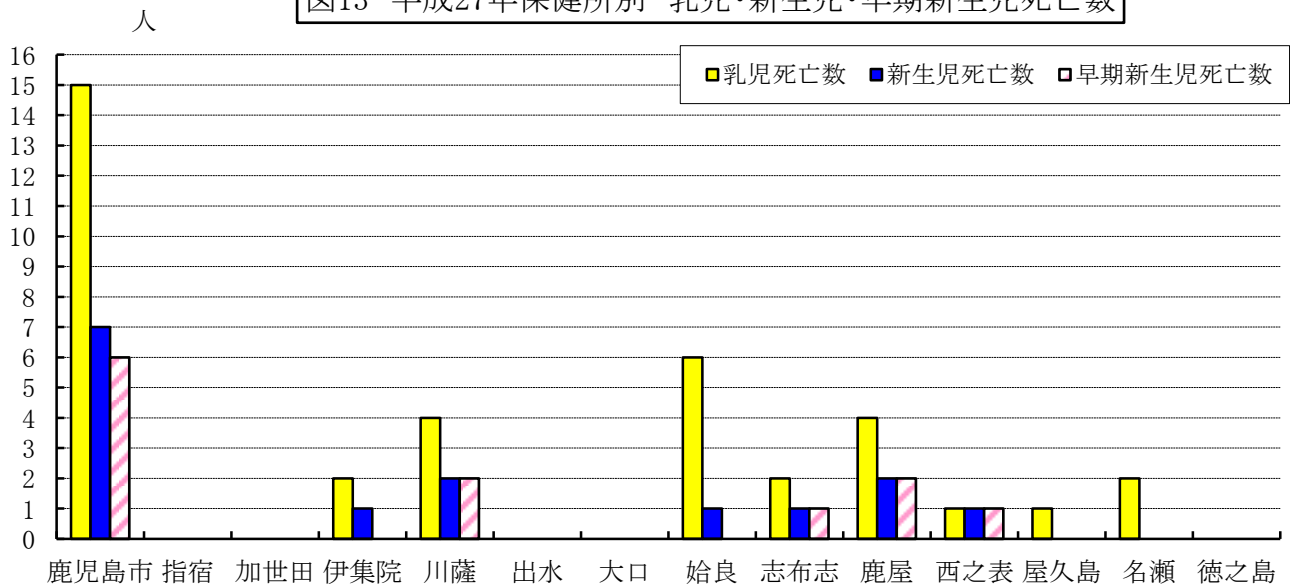


図13 平成27年保健所別 乳児・新生児・早期新生児死亡数



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県	全国
乳児死亡数	15	0	0	2	4	0	0	6	2	4	1	1	2	0	37	1,916
乳児死亡率	2.7	0.0	0.0	3.5	3.9	0.0	0.0	3.1	3.3	2.9	4.3	7.9	3.6	0.0	2.6	1.9
新生児死亡数	7	0	0	1	2	0	0	1	1	2	1	0	0	0	15	902
新生児死亡率	1.3	0.0	0.0	1.7	2.0	0.0	0.0	0.5	1.7	1.4	4.3	0.0	0.0	0.0	1.1	0.9
早期新生児死亡数	6	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	12	665
早期新生児死亡率	1.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.8	0.7
出生数	5,526	304	610	577	1,023	683	175	1,942	600	1,383	230	127	561	384	14,125	1,005,677

資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 生存期間別乳児死亡

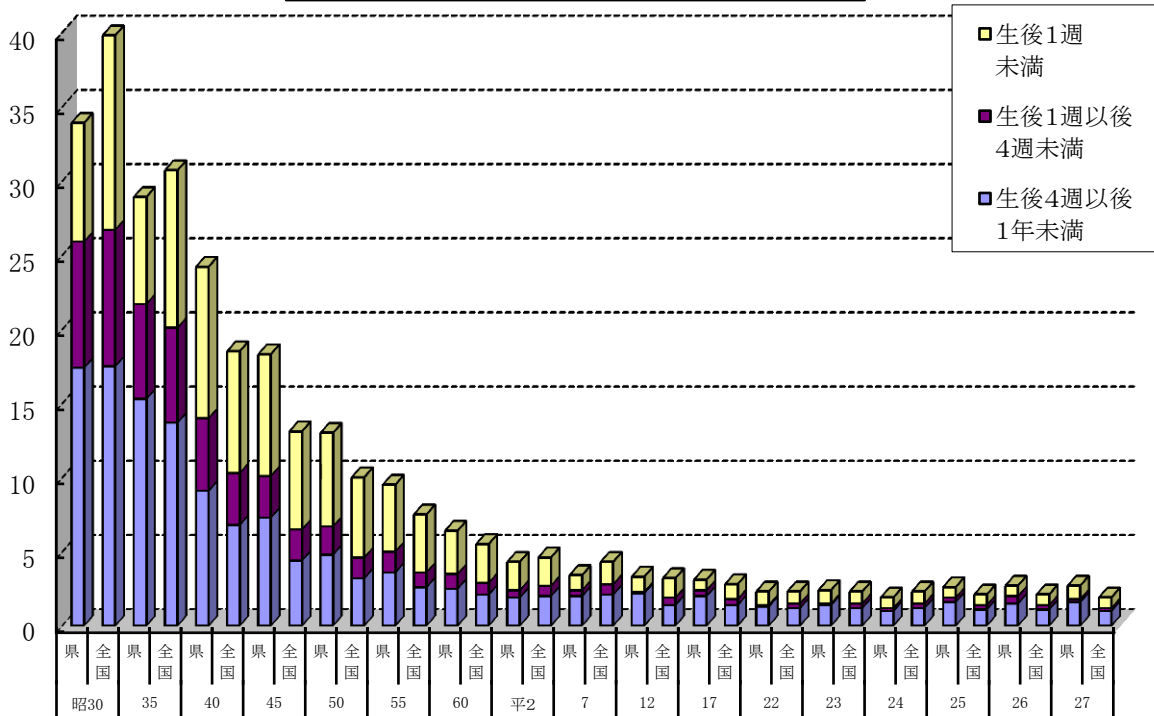
生存期間別乳児死亡率の年次推移については、低率で推移している。

平成27年については、生後1週未満の早期新生児死亡率は0.9、生後1週以後4週未満の新生児死亡率は0.2、生後4週以後1年未満の乳児死亡率は1.6であり、全国より高率であった。

また、生存期間別に乳児死亡割合をみると、約3人に1人(32.4%)が早期新生児死亡である。

出生千対

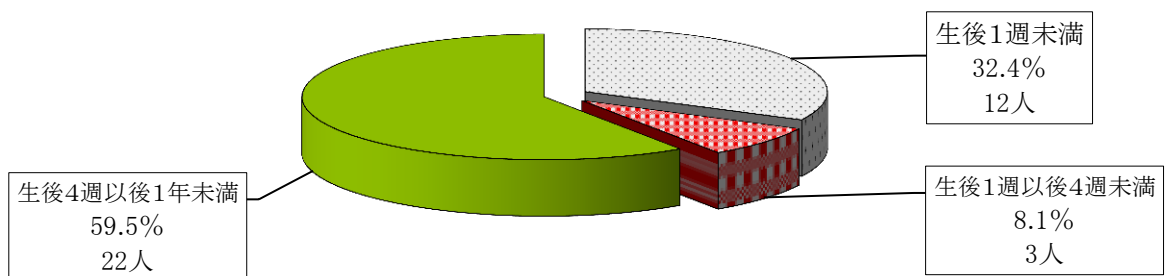
図14 生存期間別乳児死亡率年次推移



区 分	昭30		35		40		45		50		55		60		平2		7		12		17		22		23		24		25		26		27	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国		
生後4週以後1年未満	17.4	17.5	15.3	13.7	9.1	6.8	7.3	4.4	4.8	3.2	3.6	2.6	2.5	2.1	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	1.4	2.0	1.4	1.3	1.2	1.4	1.2	1.0	1.2	1.6	1.1	1.5	1.1	1.6	1.0
生後1週以後4週未満	8.5	9.2	6.4	6.4	4.9	3.5	2.8	2.1	1.9	1.4	1.4	1.0	1.0	0.8	0.5	0.7	0.4	0.7	0.1	0.5	0.4	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.2	0.2
生後1週未満	8.0	13.1	7.2	10.6	10.2	8.2	8.2	6.6	6.3	5.4	4.5	3.9	2.9	2.6	1.9	1.9	1.0	1.5	1.0	1.3	0.7	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	0.7
乳児死亡率	33.9	39.8	28.9	30.7	24.2	18.5	18.3	13.1	13.0	10.0	9.5	7.5	6.4	5.5	4.3	4.6	3.4	4.3	3.3	3.2	3.1	2.8	2.2	2.3	2.4	2.3	1.9	2.2	2.5	2.1	2.7	2.1	2.6	1.9

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図15 生存期間別乳児死亡構成割合
(平成27年 乳児死亡数37人, 本県)

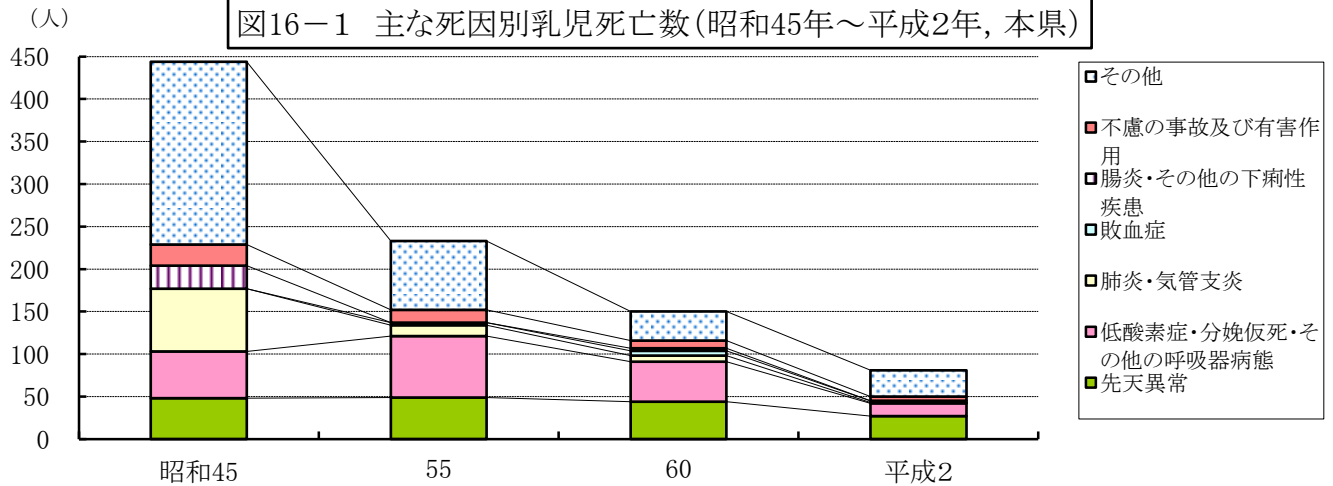


(3) 乳児死亡の原因

死因別死亡については、死因分類が変わった平成7年以前(図16-1)と、それ以降(図16-2)とに分けて示した。昭和40年代ごろまでは肺炎・気管支炎や腸炎・その他の下痢性疾患等の感染性の疾患が多かったが、次第に低酸素症・分娩仮死等の呼吸器疾患が多くなり、感染性の疾患は激減した。その後は、先天奇形等や周産期に発生した病態が多くなっている。

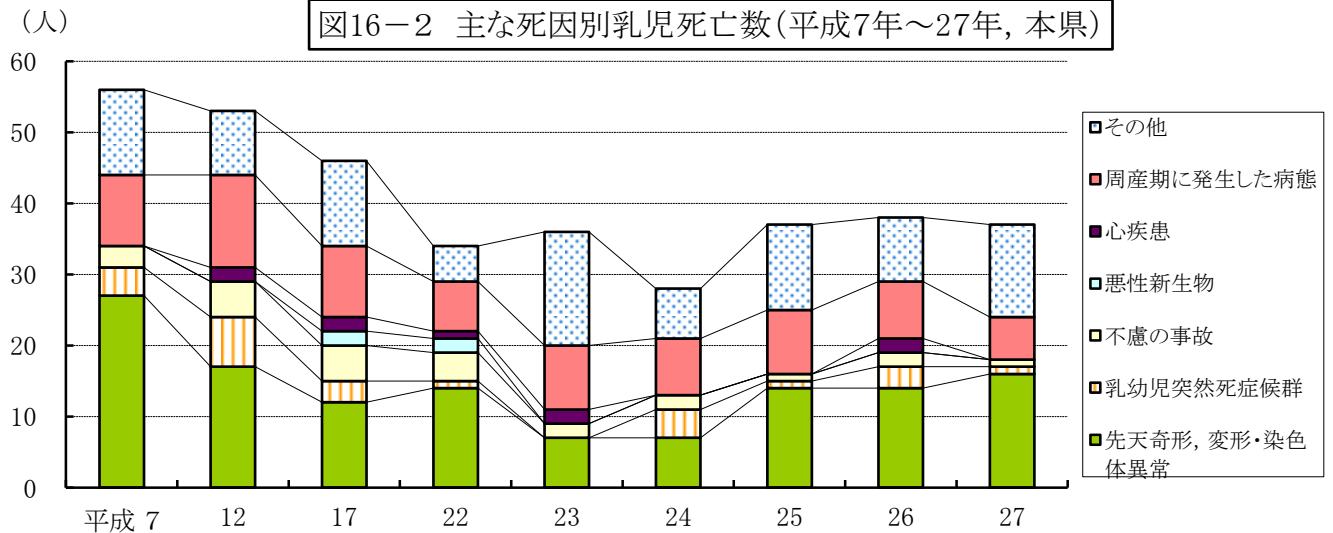
平成27年の死因別乳児死亡は、本県では「先天奇形、変形・染色体異常」が43.2%、次いで、「周産期に発症した病態」が16.2%、となっており「不慮の事故」は2.7%であった。

図16-1 主な死因別乳児死亡数(昭和45年～平成2年, 本県)



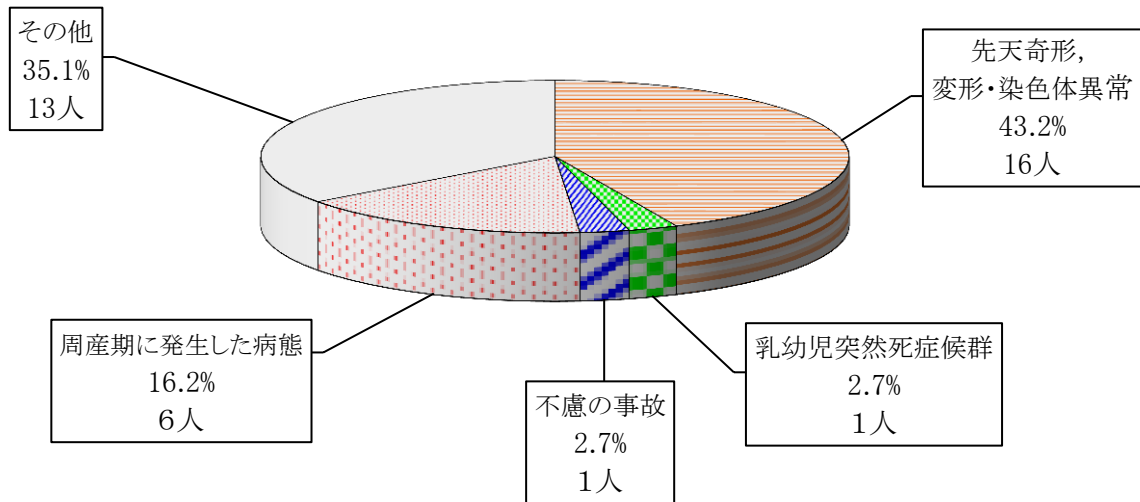
資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図16-2 主な死因別乳児死亡数(平成7年～27年, 本県)



資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図17 主な死因別乳児死亡数及び割合
(平成27年乳児死亡数37人, 本県)



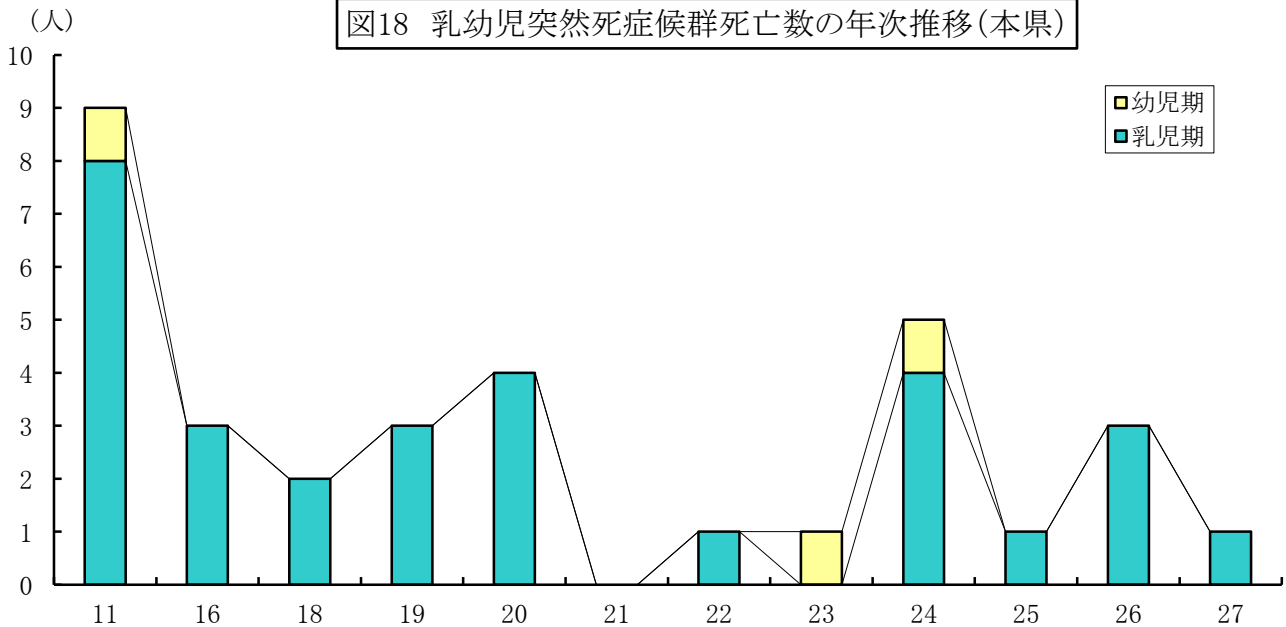
(4) 乳幼児突然死症候群(SIDS)

何の予兆や既往歴のない乳幼児に死をもたらす乳幼児突然死症候群は、その9割が乳児期に起こるといわれている。

全国的には、国が乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間を開始した平成11年度から平成19年まで年々減少傾向にあり、最近ではほぼ横ばいとなっていた。平成27年は大幅に減少し、96人の死亡であった。

本県においては、平成27年は1人の死亡であった。

図18 乳幼児突然死症候群死亡数の年次推移(本県)



年度	11	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
鹿児島県	9 (8)	3 (3)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	5 (4)	1 (1)	3 (3)	1 (1)
全 国	412	196	194	158	168	157	147	148	152	125	146	96

* ()は乳児期(1歳未満)の死亡数

資料:厚生労働省「人口動態統計」

4 周産期死亡

平成27年の本県の周産期死亡率は4.1であり、前年と比較すると0.8高く、全国の3.7と比べると0.4高い率であった。

妊娠満22週以後の死産は、死産数46胎(死産率3.2)であり、妊娠週数別では、妊娠22週～27週の死産が16胎(34.8%)である。

図19 周産期死亡率の年次推移

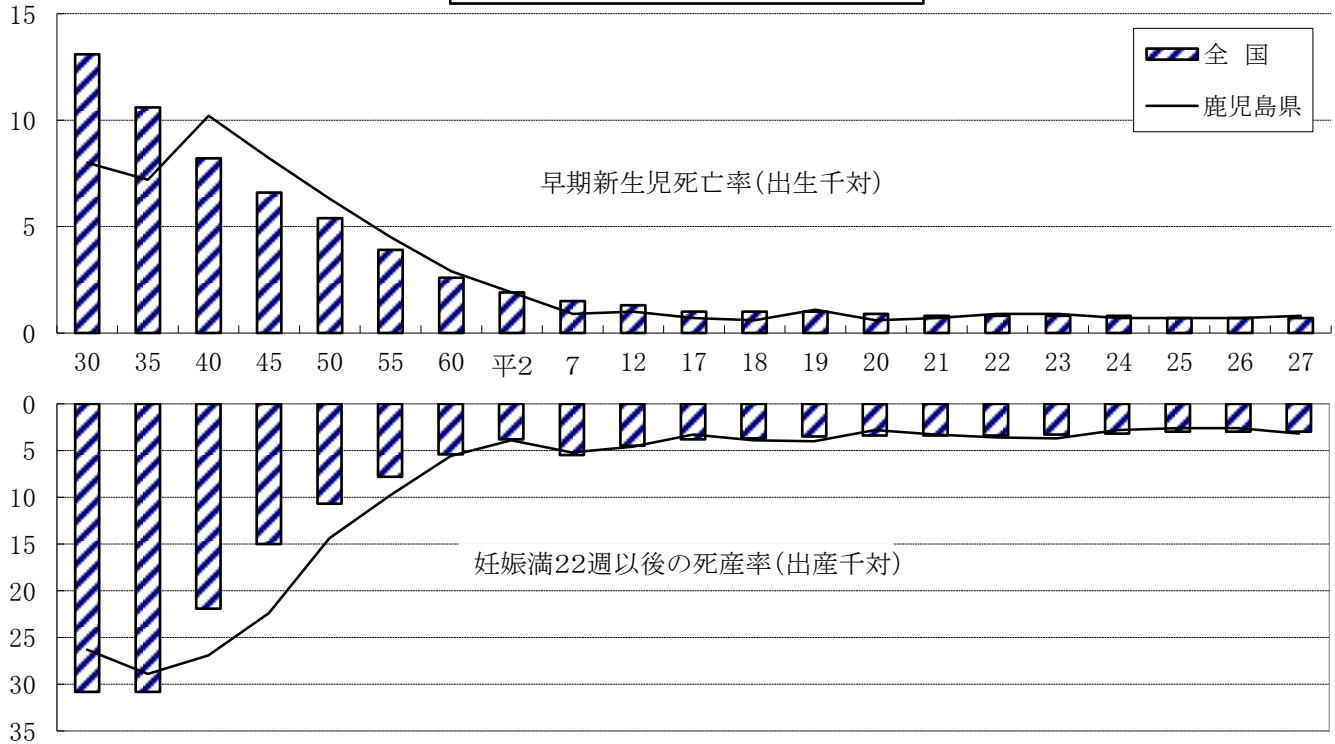


表3 周産期死亡数・率(出産千対)、早期新生児死亡数・率(出生千対)の年次推移

年次	鹿児島県						全国		
	周産期死亡		妊娠満22週以後の死産		早期新生児死亡		周産期死亡率	妊娠満22週以後の死産率	早期新生児死亡率
	死亡数	死亡率	死産数	死産率	死亡数	死亡率			
昭25	—	—	—	—	—	—	46.6	31.5	15.1
30	1,712	34.3	1,312	26.3	400	8.0	43.9	30.8	13.1
35	1,364	36.1	1,092	28.9	272	7.2	41.4	30.8	10.6
40	1,083	37.0	786	26.9	297	10.2	30.1	21.9	8.2
45	744	30.6	545	22.4	199	8.2	21.7	15.0	6.6
50	505	20.6	358	14.4	154	6.3	16.0	10.7	5.4
55	349	14.2	240	9.8	110	4.5	11.7	7.8	3.9
60	197	8.4	130	5.6	67	2.9	8.0	5.4	2.6
平2	108	5.7	73	3.9	35	1.9	5.7	3.8	1.9
7	105	6.3	89	5.2	16	0.9	7.1	5.5	1.5
12	92	5.6	76	4.6	16	1.0	5.8	4.5	1.3
17	60	4.0	49	3.3	11	0.7	4.8	3.8	1.0
18	68	4.5	59	3.9	9	0.6	4.7	3.7	1.0
19	76	5.0	60	4.0	16	1.1	4.5	3.5	1.0
20	53	3.4	43	2.8	10	0.6	4.3	3.4	0.9
21	60	4.0	50	3.3	10	0.7	4.2	3.4	0.8
22	67	4.4	54	3.6	13	0.9	4.2	3.4	0.8
23	69	4.5	56	3.7	13	0.9	4.1	3.3	0.8
24	51	3.4	41	2.8	10	0.7	4.0	3.2	0.8
25	48	3.3	38	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7
26	47	3.3	37	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7
27	58	4.1	46	3.2	12	0.8	3.7	3.0	0.7

*妊娠満22週以後の死産は、平成6年までは28週以後の死産であった。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図20 平成27年周産期死亡数
県全体=58人

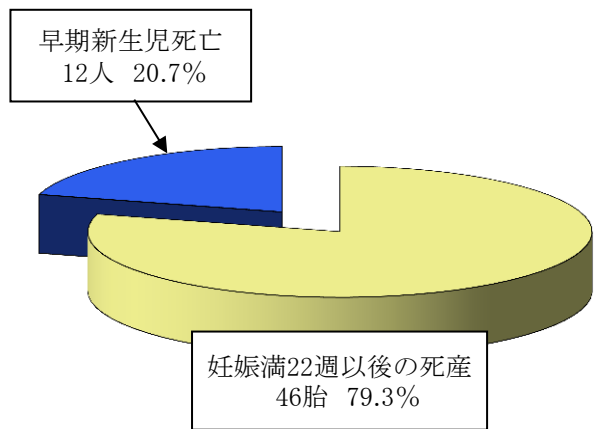


図21 平成27年妊娠満22週以後の死産の妊娠期間別死産数と割合

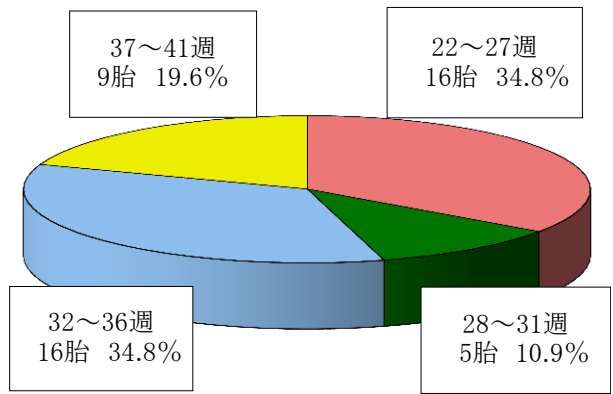
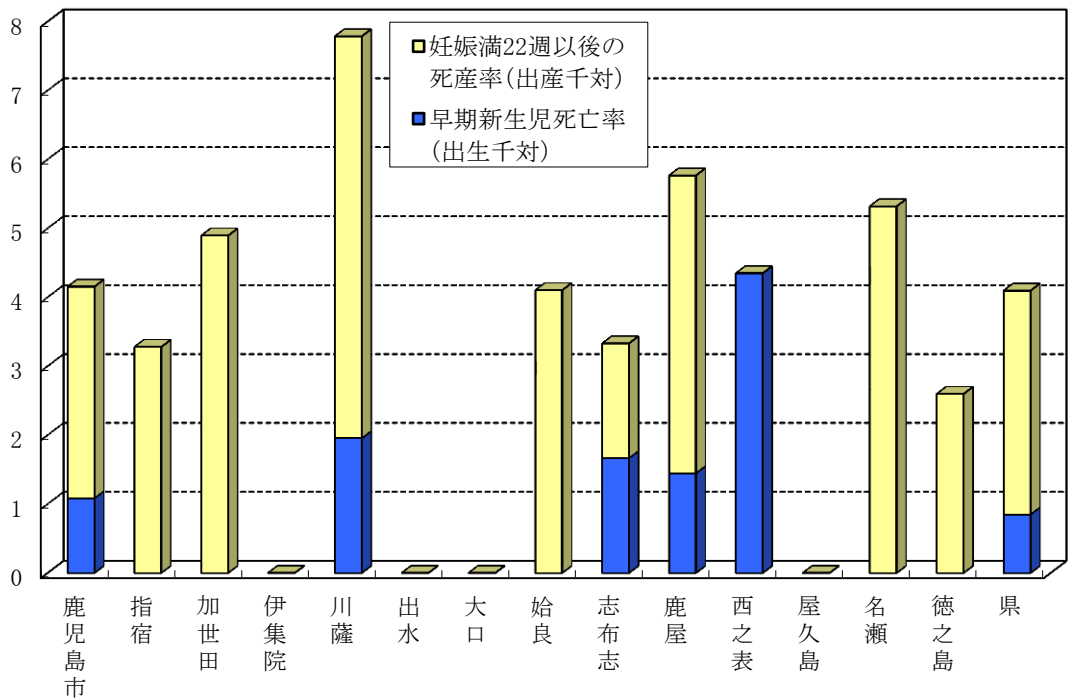


図22 平成27年保健所別周産期死亡率



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
早期新生児死亡数	6	0	0	0	2	0	0	0	1	2	1	0	0	0	12
早期新生児死亡率 (出生千対)	1.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.7	1.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.8
妊娠満22週以後の死産数	17	1	3	0	6	0	0	8	1	6	0	0	3	1	46
妊娠満22週以後の死産率 (出生千対)	3.1	3.3	4.9	0.0	5.8	0.0	0.0	4.1	1.7	4.3	0.0	0.0	5.3	2.6	3.2
周産期死亡数	23	1	3	0	8	0	0	8	2	8	1	0	3	1	58
周産期死亡率 (出生千対)	4.1	3.3	4.9	0.0	7.8	0.0	0.0	4.1	3.3	5.8	4.3	0.0	5.3	2.6	4.1

資料:厚生労働省「人口動態統計」